

設計等委託成績評定報告書

令和 年 月 日

総務部経理管財課長 様

〇〇〇〇〇〇部 〇〇課長
(工事主管課長)

設計等委託成績評定について次のとおり報告します。

契 約 番 号				
件 名				
履 行 場 所				
受 託 者 名				
業 種 番 号	業種名		分野	
代 理 人 氏 名			主任技術者氏名	
契 約 金 額			起工金額¥	
変 更 契 約 金 額			落札比率(%)	
契 約 日	令和	年	月	日
完 了 日	令和	年	月	日
完 了 検 査 年 月 日	令和	年	月	日
総括監督員所属・氏名	部	課長		
主任監督員所属・氏名	部	課	担当係長	
担当監督員所属・氏名	部	課	担当	
検 査 員 所 属 ・ 氏 名	部	課	担当	
評 定 点				点
事 故 等 に よ る 減 点	—			点
総 評 定 点				点

※ 総評定点欄は、小数点以下を切捨てて整数とする。

設計等委託成績評定表

令和 年 月 日

工事主管課

件名						契約方法				
履行場所						文書番号				
路線・河川名等						受託者				
契約日						起工金額(円)				
完了日						契約金額(円)				
変更期限						変更金額(円)				
委託の種類						業種名・分野				
						完了検査日				
工事主管課						部	課	担当		
代理人氏名						所見欄				
主任技術者氏名						担当監督員				
照査技術者氏名										
担当技術者氏名①										
担当技術者氏名②						主任監督員				
担当技術者氏名③										
総括監督員氏名										
主任監督員氏名						総括監督員				
担当監督員氏名										
検査員氏名										
評価項目	評定点					委託評定 ①	技術者評定			
	担当 監督員	主任 監督員	総括 監督員	検査員 評定点	評定点		代理人、 主任技術者 ②	担当 技術者 ③	照査 技術者 ④	
専門技術力	提案力、改善力					/ 200	/ 200	/ 200		
	委託執行技術力					/ 400	/ 400	/ 400		
	施工時への配慮	概略設計、予備設計								
		詳細設計								
コスト把握能力										
管理技術力	工程管理能力					/ 200	/ 200			
	品質管理能力	設計委託以外								
		設計委託								
迅速性、弾力性、調整能力					/ 100	/ 100				
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性					/ 100	/ 100	/ 100		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観					/ 200	/ 200	/ 200		
成果品の品質						/ 800	/ 800	/ 500	100 / 100	
⑤ 評定点の加重評定点						/ 2400	/ 2400	/ 1600	/ 300	
⑥ 事故等による減点					-	-	-	-	-	
					-	-	-	-	-	
総合評定点 = ⑤ + ⑥ + ⑦					-	/ 100	/ 100	/ 100	/ 100	

1.採点表

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
提案力、改善力 [加点评価]	委託着手段階における委託特性等の考慮	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法、技術に関する提案がなされた。注)
	委託遂行段階における提案	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100		
プロセス評価 専門技術力 委託執行技術力	目的と内容の理解	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 当該委託の目的、内容が理解されていた。 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打合せ資料の内容	20		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。注)
	小計	100		

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと

1.採点表

評価項目		評価の視点	配点	得点		
プロセス評価 専門技術力	施工時への配慮 〔設計時評価〕 (設計委託を対象に評定する。イ、ロのいずれかを選択する。)	イ・『概略設計、予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識	60		<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。 施工方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を十分理解していた。
			施工条件の把握	40		<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
		小計	100			
		ロ・『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識	40		<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。
			施工条件の把握	30		<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
	施工計画 (施工方法、仮設備計画)		30		<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載した施工計画書が提案された。 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。 	
	小計	100				
	コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)	コスト把握能力	100		<ul style="list-style-type: none"> 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 コスト削減に関わる提案があった。 ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に関わる提案があった。 	
		小計	100			

1.採点表

評価項目		評価の視点	配点	得点		
プロセス評価	管理技術力	実施手順、 工程計画	30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 ・ 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 ・ 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 ・ 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。 	
		実施体制	10		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 ・ 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 ・ 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 ・ 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。 	
		打合せ内容の理解、 記録	10		<ul style="list-style-type: none"> ・ 打合せ記録簿が速やかに提出された。 ・ 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 ・ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 ・ 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。 	
		内部関係者への情報 伝達	10		<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 ・ 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 ・ 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 ・ 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。 	
		工程管理	40		<ul style="list-style-type: none"> ・ 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 ・ 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 ・ 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 ・ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。 	
	小計		100			
	品質管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の実施 〔加点评価〕	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 ・ 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
			小計	100		
		ロ・『設計委託』の 場合	ミス防止の実施	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託計画書等に、照査体制が記載されていた。 ・ 委託計画書等に、照査技術者及び照査担当者が配置されていた。 ・ 設計図書に定めのないチェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 ・ 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者及び照査担当者以外)で委託を行った。
	小計		100			

1.採点表

評価項目		評価の視点	配点	得点	
管理技術力 [加点評価]	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の変更	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100		
プロセス評価 コミュニケーション力	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30		<ul style="list-style-type: none"> 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 質問に対し的確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20		<ul style="list-style-type: none"> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力 [加点評価]	20		<ul style="list-style-type: none"> 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100		

1.採点表

評価項目	評価の視点	配点	得点	
プロセス評価	取組姿勢	100		<ul style="list-style-type: none"> ・ 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・ 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 ・ 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。 ・ 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。
	小計	100		
結果評価	目的の達成度	40		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
	的確なとりまとめ	30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	ミスの有無	30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 修正が必要なミスはなかった。 ・ ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
	小計	100		

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評価対象外

2.採点表

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
提案力、改善力 [加点评価]	委託着手段階における委託特性等の考慮	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託の仕様や発注者からの指示・打合せ確認事項等を満たす提案が積極的になされた。 当該委託の特性を考慮しつつ、新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法・技術に関する提案がなされた。注)
	委託遂行段階における提案	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、又は高度な技術レベルに基づく提案がなされた。注)
	委託遂行上必要となる課題の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 当該委託で当初想定し得なかった新たな課題が抽出された。 検討課題とともに、今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	委託内容等改善の提案	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託の作業効率(工期短縮等)を向上させる提案が、自主的になされた。 委託の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100		
プロセス評価 専門技術力 委託執行技術力	目的と内容の理解	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書に契約図書に定めている必要事項が記載されていた。 当該委託の目的、内容が理解されていた。 委託計画書の実施方針等に、委託内容についての詳細な記述があった。 特記仕様書等に示された当該委託と関連する他の委託及び事業が十分に理解されていた。
	必要情報の把握	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託着手時点において、適切に資料等が整備された。 委託実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 委託遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 委託遂行段階で、当該委託に有意な情報が自主的に提供された。
	検討項目、検討手法	20		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、委託の目的に適合していた。 委託目的に照らし必要な検討項目は、仕様書にない事項も自主的に追加して設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化又は先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。注)
	打合せ資料の内容	20		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ資料に、大きな間違いがなかった。 打合せ資料に、委託の各段階で必要とされる内容が盛り込まれていた。 打合せ資料は、簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫が見られた。 設計図書にある事項及び委託遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられていた。
	十分な技術力	20		<ul style="list-style-type: none"> 委託に必要な技術基準、マニュアル、標準仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該委託固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 委託遂行段階において、発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、又は高度な調査、解析、設計等の手法及び技術に十分対応できる能力を有していた。注)
小計	100			

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

2.採点表

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目
プロセス評価	専門技術力	イ・『概略設計、予備設計』の場合	施工に関する一般的な知識	60	<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を十分有していた。 施工方法が周辺環境に及ぼす一般的な影響を十分理解していた。
			施工条件の把握	40	<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
			小計	100	
		ロ・『詳細設計』の場合	施工に関する一般的な知識	40	<ul style="list-style-type: none"> 設計、図面作成において、留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において、施工性・経済性など一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する詳細な知識を有し活用していた。 当該委託に適用可能な、新たな工法、新材料等を提案し活用した。
			施工条件の把握	30	<ul style="list-style-type: none"> 当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 当該地域の環境特性を把握していた。 担当者の施工に関わる要求事項を十分把握していた。 契約図書及び発注者に指示された施工に関わる関係機関等の情報を十分把握していた。
			施工計画 (施工方法、仮設備計画)	30	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記載した施工計画書が提案された。 工事が周辺環境に及ぼす影響を特に配慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階ごとに適切に整理された施工計画書の提案がなされた。
			小計	100	
	コスト把握能力 (設計委託を対象に評定する。)		コスト把握能力	100	<ul style="list-style-type: none"> 設計に当たり、コスト感覚を踏まえて委託を行った。 現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 コスト削減に関わる提案があった。 ライフサイクルコストや新技術、新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト削減に関わる提案があった。
			小計	100	

2.採点表

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目	
プロセス評価	管理技術力	実施手順、 工程計画	30		<ul style="list-style-type: none"> 契約締結後速やかに委託工程表が提出され、委託に着手した。 委託実施方針及び委託工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 委託工程表は、委託全般にわたり綿密に立てられ、各委託と全体の整合が取れていた。 実施方針及び委託工程表の計画内容は、委託を円滑に遂行できる積極的な提案がされた。 	
		実施体制	10		<ul style="list-style-type: none"> 契約図書に基づき、代理人及び主任技術者通知及び委託計画書が速やかに提出された。 委託計画書に示された委託組織計画に基づく実施体制により、委託が履行された。 配置された人員は委託を効率的又は円滑に遂行できる能力、人員数が確保され、資料等の提出期限が守られていた。 計画変更があった場合、実施体制を見直し、迅速に対応した。 	
		打合せ内容の理解、 記録	10		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ記録簿が速やかに提出された。 打合せ記録簿の記載内容は、打合せ内容を適切に反映していた。 発注者からの指示・協議事項に対して、対応の内容は十分であった。 打合せ内容を十分理解し、迅速な対応(追加資料提出等)が図られた。 	
		内部関係者への情報 伝達	10		<ul style="list-style-type: none"> 担当技術者間の内部調整が行われ、発注者からの指示を繰り返すことがなかった。 発注者からの指示により、又は自主的に担当技術者間の調整が行われた。 主任技術者等と担当技術者の意思疎通が十分であり、指示や打合せ事項が資料等に反映されていた。 担当技術者のほか受注者内の調整を自主的に行っており、的確で十分な成果が得られた。 	
		工程管理	40		<ul style="list-style-type: none"> 当初提出時の委託工程表には、契約図書を踏まえた工程計画が記載されていた。 工程管理委託において、委託を円滑に遂行するための工夫がなされた。 工程管理が委託計画書どおりに行われ、関連する他の委託、事業等に影響しなかった。 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った。 	
	小計		100			
	品質管理能力	イ・『設計委託』 以外の 場合	ミス防止の実施 [加点评価]	100		<ul style="list-style-type: none"> 第三者(主任技術者、担当技術者又は照査技術者以外)のチェック等自主的な品質管理の努力がなされていた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者又は照査担当者以外)で委託を行った。
			小計	100		
		ロ・『設計委託』の 場合	ミス防止の実施	100		<ul style="list-style-type: none"> 委託計画書等に、照査体制が記載されていた。 委託計画書等に、照査技術者及び照査担当者が配置されていた。 設計図書に定めのないチェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 品質管理のためのシステム(ex.IS09001)が構築されている部署(照査技術者及び照査担当者以外)で委託を行った。
	小計		100			

2.採点表

(4/5)

評価項目		評価の視点	配点	得点	評価細目
管理技術力 [加点点評価]	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の変更	40		<ul style="list-style-type: none"> 委託遂行中に生じた、当初工程計画からの変更要請に迅速に対応した。 その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、関連事業者間の調整のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30		<ul style="list-style-type: none"> 発注者からの指示に基づき、地元住民との合意形成のための資料が迅速に作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100		
プロセス評価 コミュニケーション力	説明力・プレゼンテーション力・協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30		<ul style="list-style-type: none"> 日時、場所、参加者、目次、頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容をとらえることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30		<ul style="list-style-type: none"> 打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20		<ul style="list-style-type: none"> 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 説明当事者の説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な委託遂行への努力 [加点点評価]	20		<ul style="list-style-type: none"> 密に委託の進捗状況等が発注者に、報告されていた。 委託遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100		

2.採点表

(5/5)

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代理人、主任技術者、照査技術者又は担当技術者として、責任逃れの言動はなかった。 ・ 打合せにおいて、確認・解決すべき事項について見逃しなかった。 ・ 委託遂行段階において不明な点が生じた場合、問合せや確認が迅速になされた。 ・ 委託遂行に誤りがないよう、必要に応じ協議事項、決定事項等が再確認されていた。
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし、満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
		的確なとりまとめ	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現となっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 ・ 誤字・脱字、表記・計算ミスはわずかに認められたが、簡易に修正できる軽微なものであった。 ・ 修正が必要なミスはなかった。 ・ ミスはなく、必要書類等も完備されていた。
		小計	100	

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

※ は評価対象外

4.採点表

評価項目	評価の視点	配点	得点	評価細目
完了 検査時	説明力	説明力、 プレゼン テーション力、 協調性	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問に対しの確な回答がなされ、一般論と当該委託固有の議論が明確に区別されていた。 ・ 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・ 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント、速さ等が工夫されていた。 ・ 説明を補足するための的確な資料が周到に用意されていた。
	成果品の品質	目的の 達成度	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 ・ 委託遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・ 委託成果は、委託目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・ 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い委託に対し必要な委託成果が得られた。注)
		的確な とりまとめ	100	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書にある検討項目、委託遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・ 簡潔で理解しやすい文章表現になっている。 ・ 記載方法や成果のとりまとめに創意工夫がみられる。 ・ 設計図書にある事項、委託遂行段階での指示事項を関連付け、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

項目別評定点表

評価項目		委託評定 ①	技術者評定			
			代理人、 主任技術者 ②	担当 技術者 (注2) ③	照査 技術者 ④	
専門技術力	提案力、改善力	/ 200	/ 200	/ 200		
	委託執行技術力	/ 400	/ 400	/ 400		
	施工時への 配慮(注3)	概略設計、 予備設計				
		詳細設計				
コスト把握能力(注4)						
管理技術力	工程管理能力	/ 200	/ 200			
	品質管 理能力(注3)	設計委託以 外				
		設計委託				
迅速性、弾力性、 調整能力		/ 100	/ 100			
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテー ション力、協調性	/ 100	/ 100	/ 100		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	/ 200	/ 200	/ 200		
成果品の品質		/ 800	/ 800	/ 500	/ 100	
⑤ 評定点の加重平均点 (注1)		/ 2400	/ 2400	/ 1600	/ 300	
⑥ 事故等による減点						
総合評定点 = ⑤ + ⑥		/ 100	/ 100	/ 100	/ 100	

注) 1. 「⑤の評定点の加重平均点」は、評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均であり、少数第二位を四捨五入し少数第一位とする。

2. 担当技術者は、主任技術者のもとで業務を担当する者であり、受注者が定めた場合のみ、評定する。

3. 業務区分により、いずれかを評定する。

4. 設計業務の場合のみ、評定する。